Creative Enzymes®

ネイティブ Crotalus adamanteus L-アミノ酸オキシダーゼ

Cat. No. NATE-0366

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、L-アミノ酸オキシダーゼ（LAAO）（EC 1.4.3.2）は、次の化学反□を触媒する酵素です：L-アミノ酸 + H2O + O2 ↔ 2-オキソ酸 + NH3 + H2O2。この酵素は1944年にA. ゼラーとA. マリッツによって初めて記述されました。LAAOは分子量に関して非常に□動が大きいだけでなく、安定性に関しても広範□にわたって異なります。同□に、この酵素はアポトーシス誘導、浮腫誘導、出血、血小板凝集の抑制または誘導を含む無数の生物学的活動を行います。
用途	L-アミノ酸オキシダーゼ (LAAO) は、L-アミノ酸を□□するα-ケト酸に□換するために使用されます。1ユニットは、pH 6.5、37℃で1.0µmoleのL-フェニルアラニンを□分酸化的脱アミノ化します。Creative EnzymesのL-アミノ酸オキシダーゼは、ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP) 活性アッセイに使用されました。この酵素は固定化され、現場でのL-アラニンの定量のために化学発光□出を用いた酵素フロー注入手法に使用されました。
別名	L-アミノ酸オキシダーゼ; LAAO; L-AAO; EC 1.4.3.2; 9000-89-9; オフィオアミノ酸オキシダーゼ; L-アミノ酸:酸素オキシドレダクターゼ (脱アミノ化)

製品情報

由来	クロタルス・アダマンテウス
形態	タイプI、乾燥した毒; タイプII、水性懸濁液。
EC番号	EC 1.4.3.2
CAS登□番号	9000-89-9
活性	タイプI、> 0.3単位/mg 固体; タイプII、> 3.0単位/mg タンパク質 (ビウレット)。
緩衝液	H2O: 可溶性 1.0 mg/mL、透明 (lit.)
単位定義	1ユニットは、pH 6.5、37°Cで1.0µmoleのL-フェニルアラニンを酸化的脱アミノ化します。（L-ロイシンは、pH 7.8、37°Cで同じ速度で脱アミノ化されます。）

保管・発送情報

保存方法	タイプI、−20°C; タイプII、2-8°C。